

# 「日本企業の強みを活かすガバナンス」に関する調査 質問票

< 2005 年 2 月 >

【調査主体】独立行政法人 経済産業研究所  
企業ガバナンス研究会

## ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、日本の企業ガバナンスのきめ細かな実態を把握する目的で、「経済産業省」所管の独立行政法人 経済産業研究所の企業ガバナンス研究会が実施するものです。ご回答の内容についてはすべて統計数値として集計いたします( という回答が %という具合に)ので、会社名や個人名などが公表されることは一切ございません。
2. ご回答は、**社長様または社長様に準じる役職(経営トップ)の方**にお願いいたします。
3. この調査の実施、取り纏めにつきましては、三井情報開発株式会社 総合研究所に委託しております。
4. ご記入にあたっては、万年筆、黒ボールペン、黒鉛筆をお使いください。
5. お答えは、特に説明のないかぎり、あてはまる項目をお選びになって、該当する番号に をおつけください。なお、質問ごとに「 は1つ」、「 はいくつでも」というように、回答数を指定してありますので、ご注意ください。また、お答えが「その他( )」にあてはまる場合は、お手数ですが( )の中にその内容を具体的にご記入ください。
6. 質問の番号順にお答えください。質問によっては一部の方だけにお尋ねするものがありますが、その場合には指示にそってお進みください。
7. ご記入いただいた用紙は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**3月10日(木)まで**にご投函くださいますようお願い申し上げます。(10日以降も受け付けております)
8. 本アンケートについてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

### 【調査主体】

独立行政法人 経済産業研究所  
企業ガバナンス研究会

### 【調査実施に関するお問合せ先】

三井情報開発株式会社 総合研究所\*  
電話：03-5304-7202  
担当：菊池、浜口、野口



\* 弊社は ISO9001 及びプライバシーマーク取得企業です

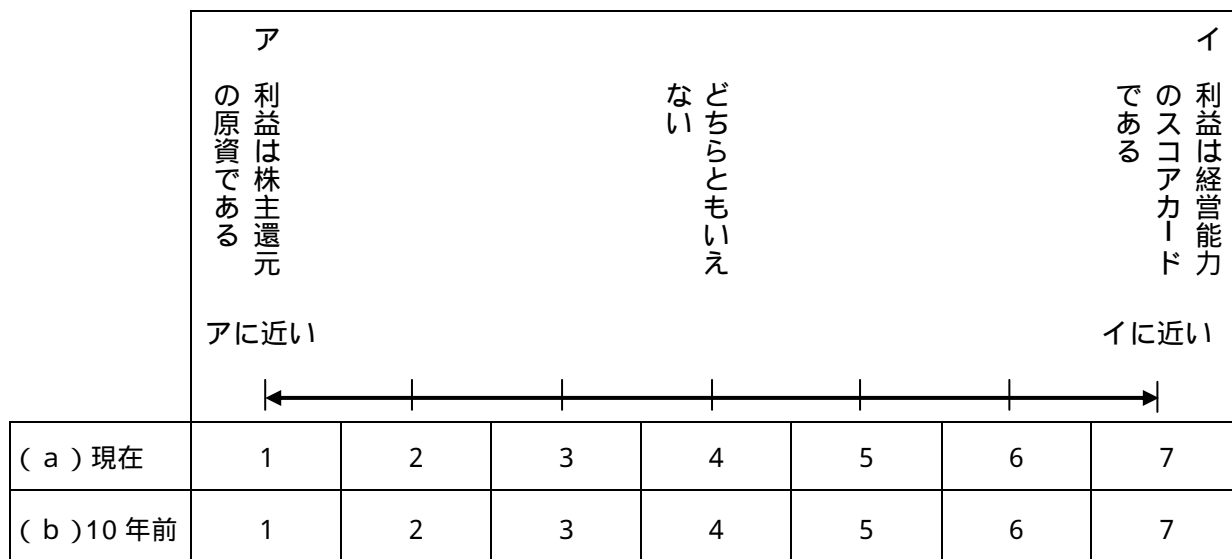




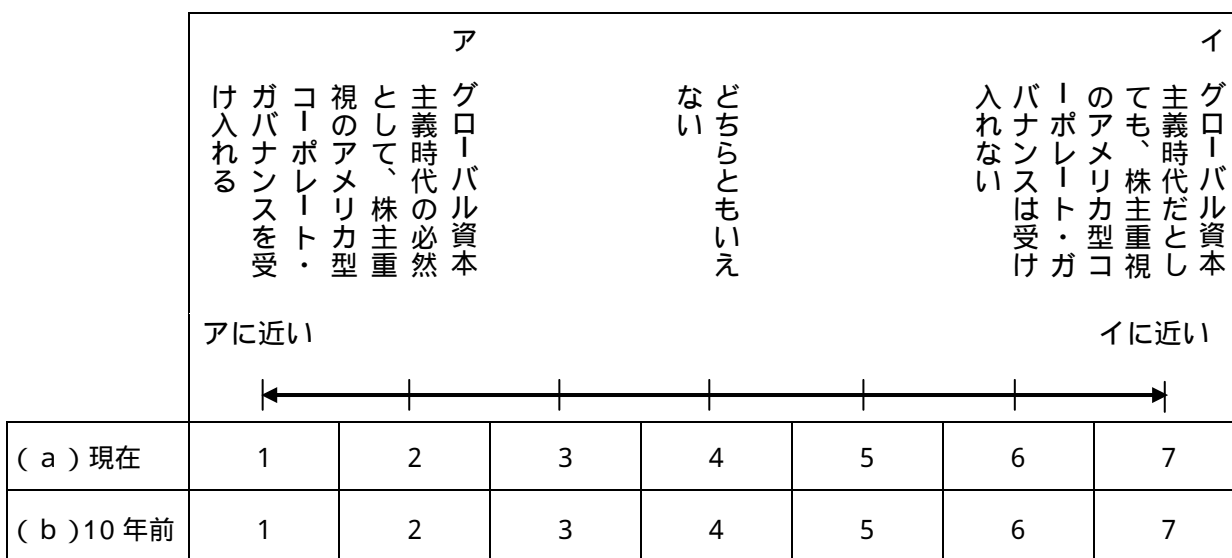
( 1 6 ) 株価に対する一般的な考え方



( 1 7 ) 利益の機能



( 1 8 ) アメリカ型ガバナンスへのスタンス



( 1 9 ) 会社は誰のものか

	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>ア</p> <p>株主が誰であ れ 会社は株主の ものである</p> <p>アに近い</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ど ち ら と も い え な い</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>イ</p> <p>会社はそこに コ ミットしてい る 従業員の ものである</p> <p>イに近い</p> </div> </div>						
( a ) 現在	1	2	3	4	5	6	7
( b ) 10 年前	1	2	3	4	5	6	7

**第 部 資本市場・株主・従業員との関係**

【問 2】 あなたにとっての株主（投資家）や株価のイメージをお尋ねします。以下の文章はあなたにどの程度あてはまりますか。最もあてはまるもの 1 つに 印をおつけください。  
（ はそれぞれ 1 つ）

a ~ e それぞれ横に回答してください ( はそれぞれ 1 つ)	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">全くその通り</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">ど ち ら と も い え な い</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">全く違つ</div> </div>
a 自社の株主は、株価が上昇すれば納得する受動的な存在である	1 2 3 4 5 6 7
b 自社の株主には、短期的な売買を目的にしている投資家が多い	1 2 3 4 5 6 7
c 自社の経営に対する株主からの声には真摯に耳を傾けるべきだと考えている	1 2 3 4 5 6 7
d 経営を行うに当たって、自社の株価水準が気になる	1 2 3 4 5 6 7
e 日本企業の経営者は一般に、株主を重視している	1 2 3 4 5 6 7

【問3】 「株主重視の経営」というときに最も重要なのは何だと思われますか。以下の選択肢から2つまで 印をおつけください。( は2つまで)

- 1 業績を向上させる
- 2 配当を増やす
- 3 株主(投資家)に対する情報開示を向上させる
- 4 株主の利益の代表として社外取締役を選任する
- 5 株価連動の報酬制度(ストック・オプションなど)により、株主と経営者の利益を一致させる
- 6 その他( )

【問4】 貴社の株価が下がると、以下の事態のうち、どれが最も懸念されますか。以下の選択肢から2つまで 印をおつけください。( は2つまで)

- 1 TOBをかけられる可能性が高まる
- 2 株式交換などでのM&Aがしにくくなる
- 3 資金調達コストが上昇する
- 4 経営状態がよくないのではないかと外部から思われてしまう
- 5 その他( )

【問5】 貴社では1990年代以降現在まで、他社との株式の持合の程度に変化はありましたか。次の中からあてはまるもの1つに 印をおつけください。( は1つ)

- 1 持合の程度をかなり弱めた
- 2 持合の程度を若干弱めた
- 3 持合の程度はあまり変わらない
- 4 持合の程度を若干強めた
- 5 持合の程度をかなり強めた

【問6】 貴社では、外国人株主等の機関投資家は、実際にはどのような手段で経営に影響を与えると考えられますか。以下の選択肢のうち主なもの2つまで 印をおつけください。( は2つまで)

- 1 取締役の選出を通じて経営に影響を与える
- 2 株主総会での議決権の行使を通じて、経営に影響を与える
- 3 彼らの売買行動が株価を変化させることを通じて経営に影響を与える
- 4 IRミーティングを通じて経営に影響を与える
- 5 その他( )

【問7】 最近、日本企業で、委員会等設置会社に移行する企業があります。委員会等設置会社への移行の理由は何だと思われますか。回答欄の\_\_欄には、導入した企業が一般に重視したと思われる理由を、また\_\_欄には貴社が重視した理由（ただし、貴社が委員会等設置会社に移行済みまたは移行することが決定済みの場合のみ）を、それぞれ2つまで番号でお答えください。なお\_\_欄については、貴社が委員会等設置会社に移行されていない場合は、×印をつけてください。

【回答欄】

一般的理由	2つまで	
貴社の理由	2つまで (該当しない場合は×印を)	



<p>【選択肢】 上の回答欄に番号をご記入ください</p> <p>1 執行と監督を分離することにより、取締役会の監督機能を強化したかったため</p> <p>2 執行と監督を分離することにより、業務執行をスピーディーにしたかったため</p> <p>3 株主代表訴訟の対象となる人を減らすため</p> <p>4 親会社から求められたため</p> <p>5 株主構成が変化し、新たな株主からそれを求められていると感じたため</p> <p>6 株式市場でのよりよい評価につながると思ったため</p> <p>7 それが社会の大きな流れであると判断したため</p> <p>8 その他( )</p>
--

【問8】 前問の\_\_欄に×をつけた方(委員会等設置会社へ移行していない企業)にお伺いします。委員会等設置会社へ移行された場合は、次の質問へお進みください。貴社が委員会等設置会社に移行しなかったのは、なぜですか。その理由としてあてはまるものに2つまで\_\_印をおつけください。( \_\_は2つまで)

<p>1 社内取締役や常勤監査役の方がより効果的な経営や監視が期待できるため</p> <p>2 委員会等設置会社に移行することに、これといった魅力を感じないため</p> <p>3 移行に魅力を感じないわけではないが、社内の強い反撥が予想されるため</p> <p>4 社外取締役の適切な候補者がいないため</p> <p>5 現在、移行の是非を検討している最中である</p> <p>6 その他( )</p>
---

【問 9】 近年、日本企業で、社外取締役を新たに導入または増員する動きが見られます。社外取締役の新規導入・増員の最も大きな理由は何だと思われますか。前問同様、回答欄の\_\_欄には、社外取締役の新規導入・増員をした企業が一般に重視したと思われる理由を、\_\_欄には貴社が重視した理由を、それぞれ2つまで番号でお答えください。なお \_\_欄については、貴社が最近5年間に社外取締役の新規導入・増員をされていない場合は、×印をつけてください。

【回答欄】

一般的理由	2つまで	
貴社の理由	2つまで (該当しない場合は×印を)	



<p>【選択肢】上の回答欄に番号をご記入ください</p> <p>1 取締役会の監督機能を強化するため</p> <p>2 外の立場からのアドバイスを得てよりよい経営を行えるようになると考えたため</p> <p>3 親会社から求められたため</p> <p>4 株主構成が変化し、新たな株主からそれを求められていると感じたため</p> <p>5 株式市場でのよりよい評価につながると考えたため</p> <p>6 それが社会の大きな流れであると判断したため</p> <p>7 委員会等設置会社に移行したため</p> <p>8 その他 ( )</p>
--

【問 10】 前問の \_\_欄に×をつけた方(社外取締役の新規導入・増員を最近5年間していない企業)にお伺いします。最近5年間に社外取締役の新規導入・増員をされた場合は、次の質問へお進みください。

貴社が社外取締役の拡充をされなかったのは、なぜですか。その理由としてあてはまるものに2つまで ×印をおつけください。( ×は2つまで)

<p>1 社内取締役や監査役による監視で充分であるため</p> <p>2 事業内容や内部事情に通じた社内取締役や監査役による監視の方が、社外取締役による監視よりもむしろ効果的であるため</p> <p>3 サラリーマンのゴールとしての取締役のポストを減らさないことは経営の面から重要であるため</p> <p>4 社外取締役の適任者がいないため</p> <p>5 その他 ( )</p>
---

【問 11】 貴社では、経営陣の意思決定に影響を与えるものとして、次の2つのうち、どちらがより重要だと考えますか。( ×は1つ)

<p>1 株主の眼</p> <p>2 従業員の眼</p>
------------------------------



【問 12】 貴社の競争力の源泉は、次の2つのうち、どちらによりあると考えますか。あてはまるもの1つに 印をおつけください。( は1つ)

- 1 資本設備等の有形資産
- 2 従業員の能力(技術・ノウハウ等)ややる気

【問 13】 取締役会は、基本的には誰の代表であるべきだと考えますか。いずれか1つに 印をおつけください。( は1つ)

- 1 株主の代表
- 2 従業員の代表
- 3 株主と従業員の両方の代表

【問 14】 仮に取締役会のメンバーが10人だとすれば、そのうち社外取締役は何人いるのがよいと思われますか。0~10の数字でお答えください。

社外取締役は全取締役10人のうち  人がよい。

【問 15】 もし仮に、経営陣が意思決定を誤ったとすると、それは従業員の行動にどのような影響を与えますか。最もあてはまるもの1つに 印をおつけください。( は1つ)

- 1 組合を通じて経営陣への不満の声が上がる
- 2 従業員のやる気、忠誠心が低下する
- 3 従業員の離職者が増加する
- 4 その他( )
- 5 経営者の意思決定の失敗は、従業員の行動にはほとんど影響を与えない

【問 16】 「経営の透明性」を「株主に対する透明性」と「従業員に対する透明性」の2つに分けるとすれば、どちらがより重要でしょうか。以下の選択肢のうちの1つに 印をおつけください。( は1つ)

- 1 株主に対する透明性の方が重要だ
- 2 従業員に対する透明性の方が重要だ
- 3 株主も従業員も全く等しく重要だ
- 4 どちらに対する透明性も重要ではない

【問 17】 企業内部に蓄積された余裕資金は、どのように使うのがよいと思いますか。以下の選択肢のうちの1つに 印をおつけください。( は1つ)

- 1 それは株主のものであるから、増配や自社株買いなどで株主に還元されるべきである
- 2 経営の安定性や将来の投資のために、社内に貯えておくのが望ましい
- 3 従業員の雇用保証や将来の年金のために、社内に貯えておくのが望ましい
- 4 その他( )

## 第 部 経営者の交代

〔 A まずあなたが社長に選任されたときについてお伺いします。〕

【問 18】 あなたが社長に正式に就任されたのはいつですか

(西暦) \_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月

【問 19】 社長就任について内々に打診を受けたのはいつ頃ですか

(西暦) \_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月頃

【問 20】 誰から最初に打診を受けましたか。以下の選択肢のうちの 1 つに 印をおつけください。( ) は 1 つ)

- |   |               |
|---|---------------|
| 1 当時の社長                                 | 7 主要取引先       |
| 2 当時の会長                                 | 8 大株主(親会社)    |
| 3 当時の相談役等の経営者 OB                        | 9 大株主(創業者一族)  |
| 4 後継社長候補を取締役会等が諮問する会議体(指名委員会や経営諮問委員会など) | 10 大株主(機関投資家) |
| 5 取締役会ないしは常務会                           | 11 監督官庁       |
| 6 主要取引銀行                                | 12 その他( )     |

【問 21】 あなたが最終的に選ばれるという決定に最も影響力の強かった人は誰だったと思われますか。( ) は 1 つ)

- |   |               |
|---|---------------|
| 1 当時の社長                                 | 7 主要取引先       |
| 2 当時の会長                                 | 8 大株主(親会社)    |
| 3 当時の相談役等の経営者 OB                        | 9 大株主(創業者一族)  |
| 4 後継社長候補を取締役会等が諮問する会議体(指名委員会や経営諮問委員会など) | 10 大株主(機関投資家) |
| 5 取締役会ないしは常務会                           | 11 監督官庁       |
| 6 主要取引銀行                                | 12 その他( )     |

【問 22】 あなたが社長就任の打診を応諾したとき、次のような課題はご自身の抱負としてどの程度強く意識されましたか。最もあてはまる数字1つに 印をおつけください。( はそれぞれ1つ)

a ~ f それぞれ横に回答してください ( はそれぞれ1つ)	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">全くその通り</span> <span style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">い え な い</span> <span style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">ど ち ら と も</span> <span style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">全く違う</span> </div>								
	←	1	2	3	4	5	6	7	→
a 売上高の拡大		1	2	3	4	5	6	7	
b 利益の向上		1	2	3	4	5	6	7	
c 株価の上昇		1	2	3	4	5	6	7	
d 従業員の士気向上・社内のまとめ上げ		1	2	3	4	5	6	7	
e 低迷した業績の立て直し		1	2	3	4	5	6	7	
f 会社の社会的信頼の回復		1	2	3	4	5	6	7	

〔 B 次に、将来あなたの後継社長が選任される際に予想される(あるいは現に進行中である)プロセスについてお伺いします 〕

【問 23】 現在、貴社では社長の任期は決まっていますか。決まっている場合には、1.内規によるフォーマルな任期でしょうか、それとも、2.暗黙の了解でしょうか。また、具体的には任期は何年でしょうか。

- 1 内規によりフォーマルな任期が決まっている：フォーマルな任期 \_\_\_\_\_ 年
  - 2 内規はないが慣行的に暗黙の了解がある：暗黙の任期 \_\_\_\_\_ 年
  - 3 任期は特に決まっていない

【問 24】 現在、貴社では社長の定年がありますか。ある場合には、その年齢をお答えください。

- 1 社長の定年が決まっている：定年 \_\_\_\_\_ 歳
  - 2 社長の定年は決まっていない

【問 25】 あなたは、事実上、ご自身の後継者を決める立場にあるとお考えですか。

- 1 その立場にある 問 2 6、問 2 7の順にお進みください
  - 2 その立場にない 問 2 7へお進みください

【問 26】 前問でご自身が「後継者を決める立場にある」とお答えになった方に伺います。  
 ( 1 ) 後継者候補のプールとして、あなたは以下の選択肢のうちどれを想定されますか。あてはまるものすべてに 印をおつけください。( はいいくつでも )

- 1 社内取締役
- 2 執行役員または執行役
- 3 役員一步手前の上級役職者 ( 事業部長など )
- 4 社外取締役
- 5 社外取締役以外の外部人材
- 6 その他 ( )

( 2 ) 後継者についての腹案を固める前に、あなたは誰かに相談しますか

- 1 相談する
- 2 相談しない 問 2 7 へお進みください

→ ( 3 ) 後継者候補について誰かに相談する場合、その目的を仮に「 1 . その人の知恵を借りるため」と「 2 . その人と予め意見交換しておく、その後のプロセスがスムーズに運ぶから」という 2 つに分けるとすれば、そのどちらに当たりますか。いずれか 1 つに 印を、あるいはもし両方にあてはまるならば、両方に 印を、おつけください。その人には相談しないという場合には、3 ( 「 相談しない 」 ) に 印をおつけください。( はいいくつでも )

a ~ m それぞれ横に回答してください ( はいそれぞれいくつでも )	その人の知恵を 借りるため	と、その後のプロセスがスムーズに運ぶから	その人と予め意見交換しておく	その人には 相談しない
a 会長、相談役など自分の「目上」にあたる現任取締役	1	2	3	3
b 副社長、専務など自分の「目下」にあたる現任社内取締役	1	2	3	3
c 現任の社外取締役	1	2	3	3
d 現任の経営諮問委員会メンバー	1	2	3	3
e すでに当社の取締役を退いている役員 OB	1	2	3	3
f 主要取引銀行	1	2	3	3
g 主要取引先	1	2	3	3
h 大株主 ( 親会社 )	1	2	3	3
i 大株主 ( 創業者一族 )	1	2	3	3
j 大株主 ( 機関投資家 )	1	2	3	3
k 監督官庁	1	2	3	3
l 当社と直接の関係はないが、個人的に深く信頼している知人 ( たとえば財界活動で交流のある他社の経営者など )	1	2	3	3
m その他 ( )	1	2	3	3

【問 27】 あなたの後継者を事実上最終的に決定するのは誰がよいと思われますか。以下の選択肢のうちの1つに 印をおつけください。( は1つ)

- 1 現任社長である自分が決定するのがよい
- 2 会長・相談役・役員 OB などが決定するのがよい
- 3 現経営トップ層(社長・副社長・専務など)の合議により決定するのがよい
- 4 指名委員会や経営諮問委員会など社外の人もメンバーになっている会議体が決定するのがよい
- 5 機関としての取締役会が名実共に決定するのがよい
- 6 その他( )

## 第 部 重要な意思決定

【問 28】 以下に掲げる項目の意思決定に際して、社長であるあなたご自身が社内で事実上もっている権限はどれほど強いですか。それぞれ、最もあてはまる番号1つに 印をおつけください。( はそれぞれ1つ)

\* 選択肢の目安

- ・きわめて強い = 社長の独断で決めても誰かに牽制されることはまったくない
- ・きわめて弱い = 社長の独断でなど決めようがない。万一独断で決めようものなら辞任に追い込まれることすらあり得る

	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>極めて強い</span> <span>い ど ち ら も い え な い</span> <span>極めて弱い</span> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> </div>						
	1	2	3	4	5	6	7
a 後継社長の指名	1	2	3	4	5	6	7
b 経営機構改革(執行役員制の導入や全社的な組織形態の組み替え)	1	2	3	4	5	6	7
c 新規事業分野への進出などの戦略転換	1	2	3	4	5	6	7
d 大規模な設備投資	1	2	3	4	5	6	7
e 大規模な人員削減	1	2	3	4	5	6	7
f 大規模な資金調達決定	1	2	3	4	5	6	7
g 社長の意思決定権限全体を平均すると・・・	1	2	3	4	5	6	7

【問 29】 社長として大きな決断をなさる場合のプロセスについてお伺いします。ここでは「大きな決断」の一つとして、「自分の在任期間中ではこれが最大規模になるだろう」と思われるような“既存事業における設備投資”に関する決断を想定してください。

そうした決定は最終的には取締役会等での機関決定を要するはずですが、ここではそれ以前に、社長がご自身としての意見を決められるまでのプロセスについてお尋ねします。いま仮に、そのプロセスを まずはご自身の「腹案」を練って固め、次に「最終決断」をされる、という2段階からなると想定します。

(1) このような大きな決断をご自身で実際に経験されたことがありますか

- |   |    |                                    |
|---|----|------------------------------------|
| 1 | ある | そのときのことを思い出して、以下の問いにお答えください        |
| 2 | ない | そうした事態にご自身が直面したと想像して、以下の問いにお答えください |

(2) 最終決断にむけてあなたが腹案を練っている段階で、特に誰の意向が気になりますか。以下の《利害関係者リスト》の中から3つ選んで 印をおつけください。気になる人がいない場合には、「16 気になる人はいない」に 印をおつけください。( は3つまで)

**《利害関係者リスト》**

- |   |                       |    |              |
|---|-----------------------|----|--------------|
| 1 | 会長                    | 9  | (機関投資家以外の大株主 |
| 2 | 自分に次ぐ No.2 (副社長、専務など) | 10 | 一般個人株主       |
| 3 | 当該案件に直接関わる社内取締役・経営幹部  | 11 | 取引銀行         |
| 4 | 1~3 以外の社内取締役・経営幹部     | 12 | 取引先          |
| 5 | 社外取締役                 | 13 | 監督官庁         |
| 6 | 従業員                   | 14 | マスコミ・世間      |
| 7 | 労働組合                  | 15 | その他( )       |
| 8 | 機関投資家                 | 16 | 「気になる人はいない」  |

【問 30】 最終決断をする前に、腹案を練る段階(あるいは腹案が固まった段階)で、他の誰かに相談しますか。

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1 | 相談する              |
| 2 | 相談しない 問32へお進みください |

【問 31】 前問で「相談する」とお答えになった方に伺います。

(1) 誰に相談しますか。《利害関係者リスト》の中から最も存在感の大きい利害関係者に1つだけ 印をおつけください。なお、次の(2)~(4)の問には基本的に、ここで 印をつけた利害関係者を念頭においてお答えください。( は1つ)

**《利害関係者リスト》**

- |   |                       |    |              |
|---|-----------------------|----|--------------|
| 1 | 会長                    | 9  | (機関投資家以外の大株主 |
| 2 | 自分に次ぐ No.2 (副社長、専務など) | 10 | 一般個人株主       |
| 3 | 当該案件に直接関わる社内取締役・経営幹部  | 11 | 取引銀行         |
| 4 | 1~3 以外の社内取締役・経営幹部     | 12 | 取引先          |
| 5 | 社外取締役                 | 13 | 監督官庁         |
| 6 | 従業員                   | 14 | マスコミ・世間      |
| 7 | 労働組合                  | 15 | その他( )       |
| 8 | 機関投資家                 |    |              |

(2) なぜ相談するのですか。以下の選択肢のうちの1つに 印をおつけください。(は1つ)

- 1 その人の知恵を借りるため
- 2 その人と予め意見交換をしておく、その後のプロセスがスムーズに運ぶから
- 3 その他( )

(3) 相談した結果、相手から反対意見や忠告が出される可能性はどれくらいありますか。以下の選択肢のうちの1つに 印をおつけください。(は1つ)

- 1 可能性は大きい
- 2 どちらとも言えない
- 3 可能性は小さい

(4) 彼らからの意見・忠告によって、実際にあなたが予め持っていた腹案を大きく変更する可能性はどれくらいありますか。以下の選択肢のうち最もあてはまるもの1つに 印をおつけください。(は1つ)

- 1 可能性は大きい
- 2 どちらとも言えない
- 3 可能性は小さい

【問 32】 問 30 で「相談しない」とお答えになった方に伺います。なぜ相談しないのですか。以下の選択肢のうち最もあてはまるもの1つに 印をおつけください。(は1つ)

- 1 自分の考えに自信があり、他の人に意見を聞いてもそれほど大きな参考にはならないから
- 2 早めに自分の考えを知らせると、かえってその後のプロセスが円滑に運ばなくなる可能性があるから
- 3 一部の人のみに相談すると、相談しなかった人々から後で苦情が寄せられるから
- 4 相談しないことが以前からの慣行になっているから
- 5 その他( )

最後に、貴社の属性と、ご回答者様についてお尋ねします。以下の諸項目の 2003 年度のデータをお教えてください。(業績等に関しては、単体ベースでお答えください。)

### < F 1 > 基本情報

- |             |          |                  |
|-------------|----------|------------------|
| (1) 証券コード   | _____    | (上場企業のみ)         |
| (2) 資本金     | _____    | 百万円              |
| (3) 総資産     | _____    | 百万円              |
| (4) 売上高     | _____    | 百万円              |
| (5) 営業利益    | _____    | 百万円              |
| (6) ROE ( ) | _____    | (%)              |
| (7) 海外売上高比率 | _____    | (%)              |
| (8) 外国人持株比率 | _____    | (%)              |
| (9) 従業員数    | _____    | 人                |
| (10) 会社設立年  | 西暦 _____ | 年 (株式会社として登記した年) |

ROE = 税引後当期利益 ÷ 自己資本

## < F 2 > 筆頭株主

( F 2 - 1 ) 貴社の筆頭株主は以下のいずれに該当しますか。あてはまるもの1つに 印をおつけください。

1 主要取引銀行	7 創業者一族
2 機関投資家(国内)	8 政府
3 機関投資家(海外)	9 自社従業員持株会
4 親会社(日本企業)	10 自社(自己株式)
5 親会社(外国企業)	11 その他( )
6 (親会社以外の)主要取引先	

( F 2 - 2 ) 筆頭株主の持ち株比率は何パーセントですか。

< 記入例 >

百	十	一	.		百	十	一	.	
			.			4	5	.	1

< 小数点第 1 位まで >      %                                      %

( F 2 - 3 ) 筆頭株主(筆頭株主が法人の場合は、その法人から派遣された人)が、現在、貴社の取締役就いていますか。

- |               |
|---------------|
| 1 はい<br>2 いいえ |
|---------------|

## < F 3 > 取締役会

( 1 ) 取締役総数と社外取締役数(内数)をお教えください	取締役総数 _____ 人 (うち社外取締役 _____ 人)
( 2 ) 1 回の取締役会の平均所要時間はどれくらいですか	_____ 時間 _____ 分
( 3 ) 1 回の取締役会に付議される案件は平均何件くらいですか	_____ 件
( 4 ) 取締役会は年間で何回開催されますか	_____ 回/年
( 5 ) 貴社は以下のようなガバナンス制度を採られていますか	
1. 委員会等設置会社への移行.....	1. はい ・ 2. いいえ
2. 執行役員制度の導入.....	1. はい ・ 2. いいえ
3. 経営諮問委員会の設置.....	1. はい ・ 2. いいえ

## < F 4 > ご回答者ご芳名

( 1 ) 貴社名	
( 2 ) ご回答者様のお名前	
( 3 ) ご回答者様の所属部署・役職	
( 4 ) 電話番号	

最後までご協力いただき、誠にありがとうございましたー